

「家庭内の事故」

～家庭内に潜む危険箇所について～

新型コロナウイルス感染症の影響から家にいる機会が増えていると思います。皆さんは知っていますか？家庭内には意外と多くの危険が潜んでいることを！

不慮の事故による死亡原因は



1位 転倒・転落・墜落

2位 窒息

3位 溺死及び溺水

(令和2年人口動態統計より)

この不慮の事故はどれも家庭内で起こる可能性があります。

そこで重要なことは、事故を「**予防**」することです。

考えられる事故の例と予防方法を紹介するので参考にしてください。

「転倒・転落・墜落」 について



<事故例>

- 乳幼児が荷物や椅子によじ登り転落した
- 高齢者が筋力や注意力の低下により電気コードやふすまの段差、マットやカーペットに足をとられ転倒した
- 子どもが窓やベランダの柵を乗り越え墜落した

<予防方法>

- 窓やベランダなど墜落の恐れがある場所の近くには、荷物やイスなど**踏み台になるものは置かない**ようにしましょう
- 整理整頓をし、**階段や廊下に不要なものを置かない**ようにしましょう
- **階段に手すりを付けたり、生活スペースを1階にする**ことで転落するリスクを減らしましょう



「窒息」 について

<事故例>

- 食べ物が喉に詰まり呼吸ができない
- ボタン電池やおもちゃなどを誤って飲み込む
(乳幼児の誤飲には特に注意!!)
- 飲み込んだものが気道に入り呼吸苦が発生

<予防方法>

- 食べやすく小さく切り分けましょう(肉や刺身は要注意です)
- 電池やたばこ、コインなどは子供の手が届かない場所に保管しましょう
(トイレトペーパーの芯を通る大きさのもの、すべてが危険です。)
- 食事は、急がずよく噛んで食べましょう



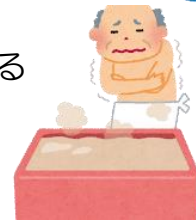
「溺死及び溺水」 について

<事故例>

- お風呂場や家庭用プールなどに落ちて溺れる
- 浴室と脱衣所の温度差により血圧の急変動で体調不良を訴える
- 入浴の時、発汗で脱水症状となる

<予防方法>

- 入浴、水遊び中は子供から目を離さないようにしましょう
- 寒い季節は暖房器具で浴室、脱衣室を暖めてから入浴しましょう
- 飲酒後の入浴は避けましょう
- 入浴前は水分補給を心がけ、長湯はしないようにしましょう



～まだまだ潜んでいる危険～

- ◆ 挟まれ：ドア、サッシなど
- ◆ やけど：キッチン、ストーブやヒーターの吹き出し口、シャワーや給湯器からの熱湯、アイロン
- ◆ 中毒：トイレ用洗剤等の混合で発生するガス



家庭内での事故は乳幼児や高齢者に多い傾向があります。
また、家で過ごす時間が多いのもこの年齢層です。
「家の中は安全」という意識が油断になり大きな事故につながる可能性があります。
一度家の危険な場所を点検してみてもいいかもしれません。



長野市消防局では、年間を通じて救命講習を実施しています。
詳しくは広報ながのや長野市のホームページをご覧ください、開催担当の消防署・分署
へ直接お申込みください。受講料は「無料」なので気軽に受講してみてください。



「火事」・「救急」は 119 番



担当 篠ノ井消防署 更北分署